

自己評価結果等届出書

令和 7 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	クラセ				
事業所番号	4650001193				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山2丁目13番13号				

2 公表状況

公表日	令和 7 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	岩下 まり子
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラス		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団で様々なプログラムを提供させていただくことで、お子様の状態やペースに寄り添った支援を提供できるような環境を整えている。	職員同士が連携してお子様の様子を観察し、支援方法を随時相談・見直しすることで、一人一人に合った療育ができる環境を整えている。(5領域「健康・生活」「運動、感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を踏まえた計画を作成している)	職員間で更に連携を図りながら、活動プログラムが固定化しないよう工夫し、小集団の中でも個別的に支援ができるような療育を目指す。
2	専門講師(積み木教室、太陽スポーツ)等他専門講師による療育、アドバイスにより、職員が知識を深めることができる。	都度保護者様と個別面談を実施し、必要に応じて専門講師に繋げている。 また、専門講師による療育や支援に対するアドバイスをいただくことで、職員が知識を深め支援の質を上げることができる。	専門講師の意見を踏まえ職員の知識が深まっているが、より確実に支援に活かせるよう職員間で、密に情報共有を行う。
3	生活体験を通して公共のマナーを学び、お子様の成長に繋がられるプログラムを作成している。	1年を通して、お買い物体験や市電貸切体験、警察署や工場見学、フェリー乗船体験等様々な公共機関での体験ができるプログラムを作成している。	お子様が主体的にやってみたい内容を盛り込みながら計画を立て実施することで、お子様の意欲や自信に繋がられるような支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子様と活動する機会が少ない。	地域の児童発達支援事業所や幼稚園・保育園と併用されているお子様はいらっしゃるが、先生方とやりとりはできているが、実際に交流する機会を検討している。	幼稚園・保育園の先生方と密に連携を図り、信頼関係を構築し交流する機会を作ることができるよう努める。
2	保護者様支援で、家庭でお子様の対応に悩む保護者様が多いが、保護者様のご都合等で面談を重ねるのが難しいケースがある。	保護者様のご家庭での子どもの対応に困っているというお声が聞かれているが、保護者様のご都合等で面談回数が少なくなり、具体的なアドバイスに繋げるのが難しいため、解決できるような連絡帳やお電話でのやりとりを続けている。	電話や連絡帳等うまく使いながらご家族に負担にならない方法でお話をお聞きし、家庭での対応が困難な場合解決に繋がられるよう進めていく。また、保護者様に向けてペアレントトレーニングを定期的に開催し、保護者様支援に活かしていく。
3	BCPや災害マニュアル・安全計画についてご家族への周知が徹底されていない。	各事業所ごとにBCPその他の災害マニュアルを作成し、それに基づいて毎月1回避難訓練も行っているが、ご家族への周知が徹底されていない。避難訓練の日程は月間行事予定表に記載、マニュアルは掲示してあるが、バス通園の保護者様への周知が十分でない。	マニュアル、BCPの周知方法を掲示だけでなく方法を検討していく。また、掲示してある旨を再度お知らせし、多くの保護者様に見ていただけるよう努める。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	クラセ					公表日	令和7年 2月 27日	
			利用児童数 37名			回収数 25名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2		1		活動スペースは基準を満たしたスペースとなっております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2		1		職員の配置は、配置基準を満たした配置数となっております。必要に応じて職員数を調整しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		2		お子様の支援に関しまして、絵カードを活用し、わかりやすい情報伝達を心がけております。設備の表示もイラストを用いております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2		1		環境整備に努め、安全・清潔な場の提供に努めています。活動に応じて療育室、遊戯室を使い分けております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2		2		研修等を通してより職員の専門性を高めてまいります。毎月1回療育研究会を実施し知識を高めております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		支援プログラムを元に提供している内容を職員間で協議し決定しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24			1		モニタリングを行う中で、お子様、保護者様のニーズを汲み取りながら計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1				児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様にあった目標・支援内容を設定し計画を作成しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			1		支援計画立案後、実施、モニタリングにより支援計画に沿った支援をしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25					同じ活動内容を繰り返し提供する中で成長を見ていく活動もありますが、引き続きプログラムが固定化しないよう工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	1	1	8		地域のお子様方と活動する機会（交流イベント等）を作り活動していけるよう検討しております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1				新規利用の契約時に説明させていただき、変更があった場合は随時お知らせさせていただいております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					6か月ごと、または目標や支援内容に変更があった場合に児童発達支援ガイドラインに基づき作成した計画を示し説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23			2		今年度5回コースでペアレントトレーニングを開催させていただきました。また、年2回の家族会にて保護者様向けの研修会を行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25					申し送り時、お電話、連絡帳等を通じて保護者様とお子様の状況を共通理解できるよう努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	4				必要に応じて保護者様との面談や助言をさせていただいております。面談は随時受け付けておりますので、必要な際はいつでもお声かけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24			1		療育研究会等で支援の姿勢等については学んでおります。今後とも共感的な支援に努めてまいります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2	1	3		交流の場として、定期的に親子療育を実施させていただき年2回家族会を開催しております。今後保護者様同士の交流が図れる機会（療育参観・茶話会等）を設けてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	3	できるだけ迅速に対応できるよう努め、他関係機関とも連携を図ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	1	申し送り時や連絡帳の記載等わかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	5	活動概要等は毎月書面にて行事予定表を配布させていただいております。自己評価の結果はホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24		1	個人情報に関しては書庫にて厳密に保管しており、写真に関しても保護者様の同意を得て掲載しております。今後とも取り扱いには十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3	2	今後は保護者様にわかりやすく周知できるよう徹底してまいります。訓練は定期的実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23		2	毎月1回、地震・火災・不審者対策等の避難訓練を実施しております。訓練日は月間行事予定表に記載しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23		2	安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24		1	事故・怪我が発生した際は、直ちに緊急連絡先に連絡をさせていただいて状況説明を行い、必要であれば病院受診を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25			安心感を持って通所していただき大変嬉しく感じます。今後とも安心・安全な支援に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	1	お子様・保護者様が安心し、楽しく通所していただけるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25			今後も保護者様からのご意見を大切にしながら、温かく丁寧な支援を行い、発達支援、家庭支援、地域支援も進めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	クラセ		公表日	令和7年 2月 27日
------	-----	--	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の状況によって机等の配置に注意しながら十分なスペースを確保してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			基準を満たした職員配置数となっておりますが、お子様の状況によって職員数を調整しております。職員のスキルも上げながら的確な支援に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		朝の会や活動中に絵カードを使用し、視覚的支援に力を入れております。	活動内容に応じて部屋を変えて環境作りに努めている。また、支援の妨げにならない程度に季節の壁面等工夫し、明るい雰囲気作りにも力を入れています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎月季節に応じた壁面を飾っております。	療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者を置くことで、衛生管理を徹底している。また、壁面等支援の妨げにならない範囲で飾り、季節感を味わえるよう工夫しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			お子様が落ち着かない場合には、空き教室を使って落ち着く環境を作っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他随時改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎年1回保護者様向け評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に活かしております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			月1回ケース会議を開催し、その際に意見を把握しています。また、毎日の朝礼でも情報共有を行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は行っておりませんが、今後は検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員個々で興味のある資格取得に取り組んでおります。	毎月1回療育研究会を実施。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後計画案を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント（検討会議）を実施した上で、児童発達支援計画を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際は随時共有を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案時、担当者だけでなく何名かで話し合いながら決定しております。	活動内容の立案は職員間で協議し共有しながら、お子様方の成長に繋がるプログラムになるよう工夫しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムの立案者を毎月交代制に固定化を防いでおります。	毎年新たな取り組みをしたり、毎月の活動がマンネリ化しないよう常に情報収集活動しながらプログラムを策定しています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			常に職員間で協議しながら、お子様の状況にあった支援を提供している。時に集団活動の中でも個別対応が必要である場面もある為、臨機応変に対応し、児童発達支援計画にも反映するよう努めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日クラスの職員全員で情報共有できないときは、連絡ノートを活用し、次の日に漏れのないよう伝達しております。	支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りをし、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳にも毎回詳しくお子様の様子を記載しております。	毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋げております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			更新時期でなくても、お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			南部保健センターの方に連絡会に出席していただいたり、併用先の幼稚園・保育園や就学先の学校とは情報交換を行っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			併用利用児は年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連絡会を行っている。方法は、来館による療育参観やズーム会議、併用先へ訪問にて実施しております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		年3回児童発達支援事業所に向けて、事業所連絡会を開催している。内容は、公開療育や研修会、意見交換会を行っております。	南部地区連絡会を開催しており、他事業所と連携を図れるようになってきているが、今後も関係作りを進めてまいります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○			発達支援セラピスト、保健師、嘱託医から療育に関するアドバイスをもらい支援に活かしている。外部研修にも随時参加しております。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会のこども部会には法人代表で1名出席しており、内容は共有しております。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			交流の機会はありませんでしたが、今後検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			5回コースでペアレントトレーニングを行い、家族支援に繋げることが出来ました。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様の様子や連絡帳での文面から悩んでいる様子が伺えた際は、お電話や面談にてお話を聞いている。また診断等出た際も面談にて結果をお聞きしております。	引き続きご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に応じられるよう努めてまいります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			交流の場として、定期的に親子療育を実施しています。また年2回家族会を開催しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会（療育参観・茶話会等）を設けております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう動いてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月1回行事予定表にて活動内容等をお知らせしております。また随時ブログを更新し活動風景を発信しております。今後はインスタグラム等での発信も検討しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報は書庫にて施錠して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しております。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様には絵カードを中心に視覚的支援を取り入れております。	お子様には絵カードの視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただいております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応マニュアル等各種マニュアルを整備しております。	マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく方法を検討してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		保護者様には行事予定表にて避難訓練日をお知らせしております。	BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用申込書に詳しく確認する項目を記載し、漏れの内容確認しております。	発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーや未摂取食材があるお子様も増えてきている為、新規利用児に慎重に聞き取りを行っております。	新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			BCP等をご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎週ヒヤリハットを所長会議資料に記載し、他部署とも共有しております。	ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			毎月1回虐待防止委員会を開催し共有している。法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。	

自己評価結果等届出書

令和 7 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	クラセ				
事業所番号	4650001193				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山2丁目13番13号				

2 公表状況

公表日	令和 7 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	岩下 まり子
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラセ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内に様々な事業形態の事業所があるため、併用していても情報を共有しやすく、課題解決に繋がりがやすい。障害児相談支援事業所も法人内にあるため連携が図りやすい。	訪問先へ課題共有をする前に、併用事業所の情報を集めてから訪問することが出来るため、より具体的な共有ができる。また、相談支援事業所とも連携を図りそこで得た情報も、保護者様に同意を得ながら共有できる。	対象児が法人内の事業所ではなく、他法人の事業所を併用されている場合もあるため、そこでの情報も十分に集められるよう他事業所に働き掛け信頼関係を築いていく。
2	保護者様にタイムリーに訪問支援内容が共有できている。	訪問したその日に一度保護者様に情報共有させていただき、再度報告書にてご確認いただく流れができていますので、支援員も漏れなくご家族と共有できている。	保護者様のご都合により、訪問支援員、訪問先担当者、保護者様が集まったのカンファレンスの開催を今後積極的に働き掛けながら、可能な限り集まったのカンファレンスを実施していきたい。
3	対象児の保護者様と支援内容を共有できていることから、随時保護者様の方から訪問してほしいというご要望をいただき、訪問の機会に繋がっている。	保護者様からのご要望があればできるだけ早く訪問を実施するよう心掛けている。また、対象児の保護者様からのお話の中で幼稚園での課題があるとお聞きした際は、併用先とやり取りをし訪問に繋げている。	今後もできるだけタイムリーに訪問できるよう、訪問支援員以外の職員にも協力をもらい、訪問体制を整えて実施できるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の回数が少々少ない	十分な職員体制を整えて訪問したいが、訪問先の行事が重なる時期によっては回数が少なくなってしまうこともある。	訪問先と十分に調整を行い、訪問時間を工夫することで療育に支障のない形で訪問できないか検討する。但し、訪問先と活動時間が重なってしまう事が多いため十分な調整が必要である。
2	専門的な訪問支援員の助言、迅速な訪問先での課題の解決	目標やお互いの課題の共有は十分にできるが、訪問先での課題の解決に繋げられる助言が十分にできているか。職員の専門性を高めていく必要がある。	可能な限り訪問回数を増やし、訪問先と信頼関係を築くことで相談・助言しやすい環境ができれば、より良い支援、課題解決に繋がる。また、職員の知識を深め、より専門的な助言ができるよう努めていく。
3	訪問先との信頼関係の構築	訪問支援の前後には訪問先の担当者様とやり取りを行っているが、訪問に関する事以外に対象児の課題に対して、より連携を密にしていく必要がある。	訪問に関する事だけではなく、普段から細かい事項を共有することで、訪問先と信頼関係を構築でき訪問先での課題の共有がよりスムーズにできよい支援に繋がる。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラセ

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 3名

回収数 3名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1				訪問時には訪問支援に支援する教材等整えて訪問しております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					面談室は個室でありプライバシーに配慮した作りとなっております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					目的等、契約時に丁寧に説明させていただいております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3				日々様々な相談をさせていただいた上で日程調整し、訪問して下さっています。	今後とも保護者様とごまめに連携を図って進めさせていただきます。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					随時職員体制を整えており、お子様の状態によって調整しております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					職員のスキルアップとして、毎月1回療育研究会にて勉強し、より専門的な支援の提供を目指しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					モニタリング、アセスメントにて保護者様からの情報を基に、検討会議にて職員間で共有しながら計画を作成しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					意向を盛り込んで作成しておりますが、今後も信頼関係を築きながらよりスムーズに意向を吸い上げられるよう努めてまいります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					計画に沿って支援しておりますが、随時職員間で確認し合いながら進めております。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					訪問先の保育に差支えないよう、活動内容を把握した上で訪問しております。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					契約時に説明させていただきます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1				利用前に発達支援計画を基に支援内容の説明を行い、その後誕生月、半年後と定期的に説明を行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	1				ペアレントトレーニングを開催、また年2回の家族会にて研修等を行っております。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3				小さなことまで相談に応じてくださり、幼稚園側も含めて共通理解できています。	今後とも日々お子様の状況を保護者様と共有させていただき、併用先と支援の統一を図ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					年2回、必要に応じて随時行う面談時やお電話にてお話を伺っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					お子様の気持ちに共感した支援ができるよう、研修等で支援の姿勢を学んでおります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					相談があった際は、職員間で共有し最適な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう努めます。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					絵カードを用いてお子様の意思を確認したり、保護者様とは申し送りや連絡帳等で情報伝達を行っております。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3					訪問先施設から相談があった際は随時対応し情報共有や必要な支援を行っております。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				訪問後必ず訪問先の職員と情報共有の場を設け、支援の統一を図っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3			いつも丁寧に内容を報告して下さりとてもありがたいです。	今後ともタイムリーに保護者様と共有できるよう努めてまいります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1			保育所等訪問に関する情報や、自己評価の結果はホームページに掲載いたしますが、その他発信を増やせるよう検討していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				個人情報に関しては書庫にて施錠して保管しており、写真に関しても保護者様の同意を得て掲載しております。今後とも取り扱いには十分に注意してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				日頃より訪問先施設と連携を図っていますが、より信頼関係を築くことで緊急時に対応出来るよう働き掛けてまいります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後とも安全確保に努めてまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				訪問した際、お子様が訪問支援員を見つけ喜んで声を掛けてくれますので、嫌がる様子は見られていません。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				今後とも職員体制を整えながら、定期的な訪問を目指してまいります。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和7年	2月	27日
クラス	利用児童数	3名	回収数	1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				わかりやすい説明ができるよう配慮してまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				引き続き専門的な知識を深めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				ご質問があればいつでもお問い合わせいただきたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				定期的に課題や困りごとを共有させていただき、少しでも解消できるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				今後とも定期的に訪問させていただき、支援の統一を目指してまいります。

その他のご意見		ご意見を踏まえた対応				
いつもありがとうございます。 子どもについて、担当の方と定期的にお電話での情報共有等ができるといいです。 よろしく願い致します。		ご意見ありがとうございます。今後も定期的に訪問、お電話等で情報共有ができたらと思っております。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クラス	公表日 令和7年 2月 27日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			訪問支援に使用する教材は十分に揃えて使用しております。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適切な配置数で訪問しており、お客様の状態に合わせて調整させていただいております。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			児童発達支援計画を作成する際に検討会議にて目標を設定し、6か月ごとにアセスメント、モニタリングを行っております。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者様からいただいたご意見を基に業務改善が必要な場合は改善しております。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ケース会議や検討会議によって意見を吸い上げ必要であれば業務改善を行っております。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は行っておりませんが、今後は検討してまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			毎月1回療育研究会を実施し、その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。療育について学び、職員の資質向上を図っております。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			計画作成前に保護者様にアセスメントを行い、検討会議にて分析し計画を完成させております。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			上記同様、作成時には職員・保護者様と検討会議を行い共通理解に努めております。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			意向を盛り込んで作成しておりますが、今後も信頼関係を築きながらよりスムーズに意向を吸い上げられるよう努めてまいります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			検討会議で共有し、随時その後も職員間で確認し合いながら支援を行っております。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っております。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為の中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			毎日朝礼を行い全体の共有をした後、クラスごとに時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日クラスの職員全員で情報共有できないときは、連絡ノートを活用し、次の日に漏れないよう伝達しております。	支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りをし、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			支援実施の際は、訪問先の活動内容を詳しくお聞きし、保育の長柄の妨げにならないよう配慮しながら支援を行っております。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			支援後は報告書を作成し、保護者様にも同意をいただき他職員にも共有しております。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			訪問時に訪問先の意向をお聞きしたり、必要ならお電話で情報共有を行っております。保護者様には6か月に1回必ずモニタリングをしており、それ以外にも随時行っております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を始め、実際支援を行っているクラスの担任も参加するよう徹底しております。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		随時必要な関係機関とは連携を図っているが、まだ十分でない為今後は積極的に連携を図ってまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校連絡会を開催し、療育施設へ来館いただいたり訪問等様々な方法で情報共有を行っております。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		嘱託医による発達相談会を実施し保護者様の悩みや課題を共有したり、発達支援セラピストに助言をいただき質の向上を図っております。外部研修にも随時参加しております。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の子ども部会には法人代表で1名出席しており、内容は共有しております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談、申し送り、連絡帳、お電話等で保護者様とお子様の状況や課題について情報共有を行っております。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度ペアレントトレーニングを行い、家族支援に繋げることが出来ております。また、家族会にて研修会を行っております。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問前に事業の趣旨や目的等について説明してから訪問するよう徹底しております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様の様子や連絡帳での文面から悩んでいる様子が伺えた際は、お電話や面談にてお話を聞いています。また診断等出た際も面談にて結果をお聞きしております。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	今後保護者様同士の交流が図れる機会（療育参観・茶話会等）を設けてまいります。	交流の場として、定期的に親子療育を実施、また年2回家族会を開催しております。今後もイベント等を開催し交流の場を提供してまいります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう動いてまいります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回行事予定表にて活動内容を発信しております。また随時ブログを更新し活動風景を発信しています。今後インスタグラムでの発信を検討しております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は書庫にて施錠して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しています。今後も引き続き注意してまいります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お子様には絵カードを中心に視覚的支援を取り入れている。	お子様には絵カードの視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		必要な際は訪問以外でもお電話等でご相談できる旨をお伝えし随時お電話をし、適切に相談に応じる体制を整えております。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先の担任の先生とご都合が合えば保護者様を交えてカンファレンスを行っております。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		実施後にタイムリーに口頭で説明し、後日報告書にて再度共有しております。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は書庫にて施錠して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しています。今後も引き続き注意してまいります。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			相談があった際は随時対応していますが、今後さらに信頼関係を深め相談しやすい環境を作ってまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、それに沿った避難訓練、感染症の会議は毎月実施しております。	保護者様により分かりやすく周知していただけるよう、発信方法等検討してまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎週ヒヤリハットを所長会議資料に記載し、他部署とも共有しております。	ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所で毎月1回虐待防止委員会を開催し、気になるケースについて職員間で共有しております。	事業所の会議だけでなく、法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃらないです。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。

自己評価結果等届出書

令和 7 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	パフ				
事業所番号	4650001201				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山2丁目13番				

2 公表状況

公表日	令和 7 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	盛本 留美
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パフ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月7日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活体験などを通じた発達支援の提供	クッキング活動やお買い物体験、社会見学、イベント等、社会性や人間関係の成長を支える活動内容を通して、お子様の経験がより豊かになる内容を提供し取り組んでいる。	季節を感じられる活動やお子様の成長を支える活動内容の充実を図っていく。また、お子様からの意見も取り入れた活動も取り入れていく。
2	複合福祉施設として、乳幼児から高齢者が過ごされているため、イベントを通して交流する機会が作れる。	法人内に多くの事業所があるため、お子様の特性にも配慮しながら発表会のお遊戯を披露したり、ハローウィンなど季節の行事と一緒に活動をしたりするなど交流の場を広げている。	事業所内の活動に加え、他の事業所との合同イベント等も増やし、一緒に遊ぶ楽しさや様々な人との関わりを広げていけるような機会を設定し、交流の場を広げていけるように努力していく。
3	専門講師(つみき教室・太陽スポーツ・発達セラピスト・えいご遊び)やリハビリの専門職(PT,ST,OT)などによる療育やアドバイスにより、職員が知識を深めることができる。	専門講師や専門職による療育や支援に対するアドバイスをいただくことで、職員が知識を深めることができ、支援の質を上げることができる。	アドバイスをいただくだけでなく、実際に現場に活かしてけるよう職員間で情報を共有しながら支援を行っていく。また、今後は更なる取り組みの強化を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のお子様や保育園・幼稚園、またご家族、きょうだい同士の交流の場が少ない。	法人内での交流はあるが、保育園や幼稚園に通っているお子様、地域のお子様、ご家族、きょうだい同士の交流する機会やイベント企画等の実施が定まっていない。	併用先の幼稚園・保育園など交流を図れるような合同イベント等先方と連携を図りながら交流できるような場を作っていけるよう努力していく。また、ご家族、きょうだい同士の交流を図れる場などのイベントを定期的に行えるよう実施に向けて努力していく。
2	専門職との取り組みがその都度調整を行うことになっているため、日程調整がうまくいかず、連携が図れないこともある。	言語聴覚士や作業療法士など保護者様のニーズが多くある。月に1回活動に携わってもらっているが、日程調整がうまくいかず連携が図れていないこともある。	活動プログラムに専門職の方が携わっていけるように年間での日程調整を行うなど、調整を早めに行い、保護者様のニーズに答えていけるよう努力していく。
3	BCPやマニュアルなどの安全計画等についてご家族への周知が徹底されていない。	お子様の安全や非常時、災害時に必要なマニュアル、BCPなどを策定し、毎月避難訓練を行っているが、ご家族に十分に周知できていない。	マニュアル、BCPなどご家族への周知方法の見直しを行っていく。また、災害時に向けてのお子様の引き渡しなどご家族にも協力していただきながら訓練を行っていくよう検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	パフ					公表日	令和7年2月27日			
						利用児童数	18名	回収数	8名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1		2	適切なスペースが確保されていると思う	十分なスペースを確保し運用するとともに、お子様の情緒面に配慮し、机を配置する等配慮を適宜行っております。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1	1	2	・適切に配置されていると思う ・適切な人数の配置がよくわからない	配置基準を満たしております。また、必要に応じて職員の調整を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3		1	4	段差等もなく子どもが生活しやすいようになっている	バリアフリー基準を満たした設備となっております。お子様には、写真やイラストなども使用し、構造化された環境となるよう心掛けております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	7	1			きれいに整えられていると思う	毎日、清掃と消毒をおこなっております。活動に合わせて、様々なスペースを使用しております。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6		1	1	一人ひとりにあった支援を行っていると思う	お子様の特性を理解し、一人ひとりにあった支援を行っております。また、職員間で共有を行い、統一した支援を行っております。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	2			子ども達に適した内容だと思う	職員間で話し合いの元、支援プログラムを作成し、内容に沿って支援を提供しております。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7			1	ニーズにあった支援計画書になっていると思う	保護者様のニーズ、お子様の成長発達に沿って、職員で話し合いの元、作成しております。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6		1	1	項目ごとに作成されている。	お子様に合わせた支援内容の目標を立てております。また、成長に合わせて、保護者様と情報共有後、関係機関との連携を図っております。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	2			計画に沿って行われていると思う	今後も、一人ひとりのお子様に合わせて支援を行ってまいります。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	2		1	毎月様々な活動内容でプログラムが組まれていると思う	・五領域の内容に基づき、様々な活動を計画しております。 ・お子様の成長に沿って、ご家庭との連携も図れる様、心掛けております。 ・お子様が楽しみながら、成長を支えていける事を職員一同、心掛けております。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	3	地域の子供たちと関わって遊んでいるのかわからない	併用先との交流活動の実施はありません。今後はイベント等交流を図れる場を検討してまいります。		
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8				丁寧に説明があった	契約時に説明をさせていただいております。何かご質問等ございましたらお申してください。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				面談等で詳しく説明があった	年に2回面談時に支援内容に基づく説明をさせていただいております。保護者様のニーズ、お子様の成長に沿った支援内容となるよう、今後も支援計画作成と支援を行ってまいります。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		1	家族が参加できる講演会などの案内がある	ペアレントトレーニングの実施には至りませんでした。今後は実施に向けて検討させていただきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1			・お迎えの時に活動の様子を教えてもらっている ・連絡帳などで活動の様子を細かく記入してもらっており、状況の共有ができている	活動の様子などお子様の状況、健康面など情報の共有を図っていきけるよう努めてまいります。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1			必要に応じて面談を行っていただいている	必要に応じて相談を行っております。適切な助言を行う事ができるよう努めてまいります。今後もいつでもお申しください。		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				支援されていると思う	本人、ご家族のニーズをしっかりと聞き取り、共感的に支援を行ってまいります。			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5			3	定期的の実施している家族会や様々な講演会等で保護者様同士の交流を行っております。今後もイベント等の開催を行い、交流の場を提供できるようにしていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	1	2	不十分な対応があり、申し訳ございませんでした。保護者様の相談につきましては迅速、適切に対応できるよう心掛けてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1			職員一同、お子様に寄り添った支援を行い、保護者様との情報共有を図ってまいります。何かお気付きのことがございましたらいつでもお申しつけください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2			毎月書面にて行事予定表を配布させていただいております。今後はインスタなどのSNS等での発信も検討しております。また、自己評価や保護者様による評価を年1回行い、結果はホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1			されていると思う。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		1	館内のマニュアルを作成しており、マニュアルを元に、毎月訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				毎月1回、地震・火災・不審者対策等の避難訓練を実施しております。訓練日は月間行事予定表にてお知らせしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1			安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	2		1	事故・怪我が発生した際は、直ちに緊急連絡先に連絡をさせていただいて状況説明を行い、必要であれば病院受診を行っております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1			安心感を持って通所してくださり大変嬉しく感じます。今後とも安心・安全な支援に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0			「今日はこんなことをした。明日はバソ？活動は何？」と毎日こんなやり取りがあり、とても楽しみにしている様子があります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	2			楽しく通園し、特にお買い物体験で実際にお店で買い物できる日は大喜びです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
パフ		令和7年2月27日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			基準を満たしたスペースとなっております。お子様の特性により、机の配置等を変え、お子様の情緒面の配慮を行っております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			配置基準を満たした職員配置数となっております。子様の対応に合わせて職員の対応を行えるよう職員のスキル向上も行っていきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お集まりなど絵カードを使用し、活動、場所を視覚的に提示し、わかりやすく支援を行っている。	お子様にとって分かりやすく構造化された環境となっております。活動内容によっては部屋を変更するなどより良い環境づくりに努めてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		季節に合わせた壁面を飾っている。	療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者を置き、衛生管理を行っております。また、壁面を飾り、季節感を味わえるように工夫しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			必要に応じて個別の療育室を使用し、落ち着いて過ごすことができるような環境づくりに努めております。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他随時改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎年1回保護者様向け評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見をHPにて好評しております。また、事業所間で共有し業務改善に活かしております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			朝礼、終礼を行い、職員間で情報共有を行っており、業務改善に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は実施しておりません。今後は実施を検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			毎月1回療育研究会を実施しております。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			保護者様から聞き取り後、事業所内でアセスメントを実施し、保護者様のニーズやお子様の目標に沿った支援計画を作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント（検討会議）を実施した上で、児童発達支援計画を作成しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			日々の振り返りを含め、お子様の状況については職員間で共有し、支援計画に沿った統一した支援を行えるよう努力しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			法人内で統一されたアセスメントツールを活用しており、職員間でも情報共有を行っております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達支援ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれの職員でアイデアを活かして活動を設定している。	活動内容については、職員間で協議するとともに、お子様の支援に基づく内容で構築できるよう計画を立てている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月交代制で活動のプログラムを作成しており、固定化されないように工夫している。	5領域に沿った内容で季節に合わせた活動や生活体験を実施できるよう職員間で協議しながら計画を立てております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			常に職員間で協議しながら、お子様の状況にあった支援を提供しております。時に集団活動の中でも個別対応が必要である場面もある為、臨機応変に対応し、児童発達支援計画にも反映するよう努めております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援終了後に、職員間で気付いた点等の共有を行い、次回の支援に繋げております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			お子様の状況については保護者様との共有する連絡帳に記載しております。業務に関しては毎日の業務日誌で振り返り、日々の支援に活かしております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			年2回実施し、更新時期でなくてもお子様の目標達成状況に応じて随時見直しを行っております。
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて地域機関との連携、また併用先の幼稚園や保育園、就学先の小学校とも連携を図り、情報共有を行っております。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			年に2回、幼稚園、保育園との連絡会を実施しております。その中で情報共有と相互理解を図っております。
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			法人内の児童発達支援センターと日頃から情報交換を行い、支援方法や事業所運営について助言をいただいております。
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域のお子様と接する機会は少ないが、併用先での交流は見られている。	交流活動の実施には至っておりませんが、併用先の保育園・幼稚園等での交流は見られております。今後は検討を行ってまいります。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お迎え時の申し送りの際や連絡帳、必要に応じて電話連絡や面談を実施し、お子様の状況や課題について共通理解を持っております。
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在ペアレントトレーニングの実施には至っておりませんが、必要に応じて、保護者様からの相談には面談を実施しております。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			新規契約時に説明を行っております。変更点があった際には、文書にてお知らせを行い、必要に応じて説明を行っております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			お子様本人や保護者様と面談を実施し、聞き取り、確認を行い、ご家族のご意向に沿った支援計画書の作成を行っております。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			保護者様との面談を実施し、その中で保護者様に内容のご確認をいただき、同意を得ております。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援計画作成以外にも、お子様の状況に合わせて保護者様と情報共有を行うと共に、必要に応じて面談を実施し、保護者様の相談に適切に応じられるようにしております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	定期的に保護者と交流する機会を設けている。	年2回、家族会を実施しており、その中で、保護者様との話し合いの場を設けております。今後も多くの方にご参加していただけるようなイベント等を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様の心身の状況やお子様のお情緒面に配慮し、通園回数等、相談に応じながら適切に対応を行っております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月活動予定表を配布しております。またホームページにて活動の報告も発信しております。今後はインスタなどのSNSも活用し、発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約書にも記載させていただいておりますが、個人情報の取り扱いには十分の配慮し、保管しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お子様の特性に合わせ、絵カード等を用い、視覚的アプローチを行っている。	お子様には絵カード等、視覚的支援を行い意思疎通の配慮を行っております。保護者様への伝達は連絡帳を用い、意思の疎通を行っております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	夏祭り、フリーマーケットなどを法人として行っている。	法人内でフリーマーケットなどを実施し、住民の方々にご参加いただいております。業所としての取り組みは現在行っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく機会が少ない為、今後発信方法等検討してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		それぞれのマニュアルを作成しており、様々な天災を想定した避難訓練を毎月実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		新規契約時やアセスメント表での聞き取りを年に1回行っております。変更があれば随時申し出ていただいております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		新規契約時、アセスメント表での聞き取りを行っております。アレルギーのあるお子様に対しては医師の指示書を提出していただき、法人内の栄養士と連携を図って個別対応を行っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、定期的に研修や訓練を行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		アセスメント表でご家族とも確認を行い、緊急連絡先の記入をお願いしております。BCP等をご家族へ向けて掲示しておりますが、取組内容の周知はまだ十分でないため、今後検討してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例を職員間で共有し書類を作成しております。また、法人内でも共有を行っております。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月虐待防止、身体拘束適正化委員会を実施しております。また、法人内の全体研修会でも研修を行っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		新規契約時には十分に説明を行っております。必要なお子様に関しましては、お子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童発達支援計画に記載する流れとなっております。	

自己評価結果等届出書

令和 7 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会		
事業所の名称 (施設名)	パフ (遊遊)		
事業所番号	4650001201		
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス
事業所の所在地	鹿児島市中山二丁目13番13号		

2 公表状況

公表日	令和 7 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	嘉原 一真
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス パフ（遊遊）		
○保護者評価実施期間	令和7年1月7日		～ 令和7年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30世帯	(回答者数) 28世帯
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の中で取り組むことで成功体験を重ね、自己肯定感を高める場になる。また、年齢、学校、地域の違う様々なお子様が一緒に過ごすことで、お互いへの刺激を受けることができる。	自信に繋がる場となるよう、学年や得意なことに応じて活躍の場や役割を持てるような活動内容を取り入れている。また、様々な特性のお子様と一緒に過ごすことで相手への理解や思いやり、認め合う気持ちを育めるような支援を心掛けている。	友達と協力したり、競ったりする経験をできるような活動やイベントを増やし、仲間づくりや対人関係スキルの向上を図る。
2	個別の時間と集団の時間をバランスよく取り入れることができる。施設の構造的にも別室を確保しやすく、それぞれに合った過ごし方を提案できる。	集団で過ごす時間と個別で過ごす時間を区別し、バランスよく過ごせるように支援している。 集団での取り組みでは、友達同士の関わりや指示理解の力、周囲への気付きを重視。集団活動が苦手なお子様もその子なりの参加ができるよう関わり方を工夫している。 個別の時間では自己決定の力、遊びを見つける力、宿題に取り組む力などを重視し、個々の意思や課題に合わせた過ごし方を提案している。	子ども達の興味を引き出したり、過ごし方を提案・一緒に体験してみることで余暇時間の過ごし方を自己決定できる力を育てていく。同時に、子どもたちの興味に応じていける環境を整えていく。
3	法人内に他の方がや就労支援B型事業所、生活介護事業所があり、高校卒業後の見通しや連携を図りやすい。また、未就学のクラスも複数あり、交流の機会を持つことができる。	放課後等デイサービス同士の交流を企画し、同年代との関わる機会を増やしている。安心できる友達や職員と一緒に、大きな集団の中で取り組む練習にもなっている。	成人の事業所や未就学のクラスとの合同企画。自分たちの準備したものをプレゼントしたり、お店屋さんとして提供したりと成果の感じやすい取り組みをしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちの支援にあたっての専門職との連携。	PT、OT、ST、歯科衛生士、看護師、栄養士等、支援の内容によって様々な専門職との連携が考えられる。現在もご要望があった際や職員が特に気になった場合は専門職と連携することができているが、スポット的な連携になってしまっている。	現在少しずつ行っているが、専門職と連携した活動を通してお子様方に必要な支援についての共有を強化する。
2	マニュアルやBCP、安全計画等についてご家族への周知が足りていない部分がある。	お子様方の安全や、非常時の事業継続の為に必要なマニュアル・BCP等を策定し、継続的に訓練も行っているが、ご家族に十分に周知できていない。一部掲示はあるが、周知が不足している。	マニュアル等の冊子をご覧いただけるように設置場所や周知の方法を見直す。
3	家族会も含めた、ご家族・きょうだい児同士の交流の場。	家族会やクリスマス会などでご家族同士の交流の場は少しずつできてきているが、もっとゆっくり話せる場も必要だと感じている。親子で参加できる企画も増やしていきたい。	ご家族の皆様に参加しやすい形をお聞きしながら、交流の場を設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス パフ（遊遊）					公表日	令和7年2月27日			
					利用児童数	34名		回収数	25名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2			⇒人数や活動内容、お子様の特性に じ、遊戯室や他の部屋も使用して活動場 所を工夫しております。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	5		1	⇒基準に即した人員配置を行って います。状況に合わせて、他の事業所にも 対応をいただいております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1		1	⇒名前カードや忘れ物チェック表など、 視覚的に生活しやすい環境を目指して います。また、必要に応じて個別の視覚教 材も用意しております。今後もお子様方 の自立に繋がるような環境を整えてま いります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	21	3		1	⇒療育室、トイレ等、活動終了後に清掃 を行い、清潔な空間が保たれるよう心掛 けています。			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	23	2			⇒お子様への共通理解を図るケース会 議、知識や技能の向上を図る療育研究 会を通して職員の資質向上に努めて おります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	20	2		3	⇒ホームページにて支援プログラムを 公開しております。ぜひご覧ください。 今後も支援プログラムに基づき、お子 様の成長に繋がる支援を提供して まいります。			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	24	1			⇒相談支援とも連携し、お子様の強みや 課題に沿った放課後等デイサービス計 画の作成に努めております。面談の中 でも案の内容についてお伺いして おりますので、ご意見いただければ 幸いです。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	24			1	⇒ガイドラインの項目ごとに支援内容 を設定しております。分かりにくい 点がありましたらお気軽に職員まで お尋ねください。 また、ガイドラインもすぐに見ら れるようご用意いたします。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	24	1			⇒同意いただいた放課後等デイサー ビス計画はケース会議や朝礼等 で共有し、支援に反映できるよう 努めております。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	24	1			⇒お子様方の興味や課題、ガイド ラインの5領域に基づき、月ご との活動を設定しております。今 後更に、お子様方の関心やご家 族のニーズも反映していきたい ので、ご要望等ありましたら職員 へお伝えいただくと助かります。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	8	4	6	7	⇒成人も含めた他事業所との交流 は企画しておりますが、児童ク ラブ等との交流は現在予定して おりません。プライベート配 慮の観点もありますので、皆 様のニーズを汲み取りながら検 討してまいります。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	25				⇒今後も引き続き、丁寧な説明を 心掛けてまいります。何かご不明 な点がありましたら、お気軽に職 員までお問い合わせください。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	25				⇒こちらも引き続き、面談等を通 して丁寧な説明を心掛けてま いります。気になった点、不安 な点等ありましたら、遠慮なく 職員までお声掛けください。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われて いますか。	24	1			⇒現在、未就学の保護者様を対 象にペアレントトレーニングを 実施しております。今後、ニ ーズに応じて対象を拡大して いけたらと考えています。			

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25				⇒今後も申し送り時や面談を通して、お子様についての共通理解を図ってまいります。日頃からお理解・ご協力ありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1			⇒年に2回の面談の実施、必要に応じて個別での面談や担当者会議を設定しております。不安に思われたこと、ご不明な点などございましたら、いつでもお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				⇒傾聴の姿勢を大切に、お子様方・ご家族の皆様へ寄り添う支援を目指しております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4		5	保護者はあるが、きょうだいはないと思う ⇒ご意見ありがとうございます。現在きょうだい児への支援として特別な形は設定しておりませんが、きょうだい児の悩みについてもお声をいただいております。ご家族の皆様のご意見いただきながら実施できる形を検討していけたらと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			4	⇒今後とも、いただいたご意見を職員間で共有し、迅速に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			2	⇒ご家族との情報共有に連絡帳、お手紙以外にさくら連絡網等を活用させていただいております。登録・確認のご協力よろしくお願いいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24			1	⇒活動概要・行事予定等は月間予定表にて、自己評価の結果はホームページや壁面掲示にて公表しております。ぜひご覧ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		3	⇒契約書の『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項目に則り、注意してお取り扱いしております。連絡帳の取り扱いも、より気を付けてまいります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			3	⇒各ケースを想定したマニュアルの策定、訓練を実施しております。各マニュアルについては、保護者様のご覧になりやすい場所への設置も予定しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		1	⇒月に1回、火災や地震、水害に備えた避難訓練を行っています。他にも年に2回、不審者対策の防犯訓練も行い、命を守る意識を高めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			5	⇒年間を通した安全計画を作成しております。ケース会議を利用し、職員間で共有して支援にあたってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			5	⇒事故の発生時はマニュアルに沿った速やかな対応と、ご家族への丁寧な連絡を心掛けております。職員が気付いていなかったケースも含め、しっかりと検証し、再発防止に努めております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1			⇒療育の環境の設定、職員の対応を日々見直し、今後もお子様方が安心して通うことができる事業所を目指してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	4			⇒活動の時間はもちろんですが、お子様同士で遊ぶ時間や余暇時間の過ごし方も含め、楽しく過ごすことができる時間と場所の確保を大切にしていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				⇒引き続き、お子様、ご家族のニーズに寄り添い、個々に応じた支援を心掛けてまいります。今後もお子様方にとってより良い支援を提供できるよう研鑽してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス バフ（遊遊）		令和7年2月27日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		⇒療育室のスペースに対して適切な定員となっております。身体を動かしたい場合は遊戯室を利用するなど、その時々で柔軟に施設を活用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		⇒状況に合わせて他事業所から応援をいただくなど、お子様の安全に配慮して職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		⇒お様が生活面の自立を図っていくよう、必要な情報を視覚的に掲示するなど工夫を行っています。	⇒より個別の課題に合わせた視覚的な教材の用意を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		⇒療育後、お部屋やトイレの清掃を行い清潔な空間を保てるように心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		⇒お様の過ごし方の違いへの対応や、落ち着く為の場所として相談室や隣室を使用しています。また、思いきり身体を動かす場所として2階の遊戯室も利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		⇒年間目標の進捗状況等、ケース会議で随時振り返り、見直しを図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		⇒アンケート調査の結果は事業所内で共有し、更なる工夫、業務改善に繋げられるよう努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		⇒朝礼や日々のやり取りの中で、職員の気づきを出し合い、業務改善に活かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		⇒現在、第三者による外部評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		⇒月に1回の療育研究会、春季・秋季の職員全体研修を実施しております。また、外部研修を受けた職員がいた際は積極的に共有の場を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		⇒慶生会のホームページにて公開しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		⇒アセスメントの内容を事業所内で共有し、ニーズの反映された計画の作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		⇒計画の作成段階で、お子様の様子や支援の方針の意見を他の職員にも求めるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		⇒計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼やケース会議で内容を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		⇒現在、特定のアセスメントツールは使用しておりません。アセスメントの書式の見直しに伴い、アセスメントツールを使用するかも検討しているところです。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		⇒ガイドラインの項目を踏まえ、実際のお子様ごとの強みや課題に合わせた支援内容を設定しています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		⇒事業所職員全員で案を出し合い、活動プログラムを組み立てています。職員それぞれの強みが活かされた活動も取り入れられていると思います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		⇒ねらい（指先の運動、社会体験、など）は継続しながらも、活動内容は固定化されないようプログラムを組み立てております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		⇒お子様のニーズや課題に合わせ、作成しております。個別活動と集団活動のバランスは個々に応じて変えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		⇒朝礼の時間を利用し、その日の活動のねらいや内容、お子様への支援方法など打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		⇒上記と同様に、朝礼の時間を利用し、前日の振り返りを行い、次の支援へと繋げていけるよう取り組んでいます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		⇒支援内容やお子様の様子など、記録として残し、成長や変化に気付きやすくなるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		⇒6か月ごとにモニタリングを行い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		⇒4つの基本活動がバランスよく経験できるよう支援の計画を立てています。活動の時間だけでなく、余暇の時間も活用しています。	⇒「地域交流の活動」「子どもが主体的に参画できる活動」を長期休みを利用して更に力を入れていきたいと思っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		⇒活動や過ごし方の中で、ルールを守るべしと自己選択できる部分を設定しています。	⇒言語以外の、自己表出の為のツールを増やしていきたいと考えています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		⇒担当者が出席し、有意義な情報共有が図れるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		⇒保健センターや児童相談所、各学校と関わりを作りながら支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		⇒年2回の情報交換会、送迎時などで連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		⇒必要に応じて、各関係機関と連携を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			⇒今年度対象者がいらつしゃるので、移行先の事業所さんへ情報提供の場を設け、スムーズな移行に繋がるような支援を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		⇒南部地区連絡会に参加し、他事業所との意見交換や助言をいただく場になっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			⇒法人内の放課後等デイサービスや成人の事業所とは定期的に交流活動を企画しています。地域のお子様との活動の場は、得意な事業所にアドバイスをいただきながら増やしていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		⇒当法人からも自立支援協議会へ参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		⇒申し送りや面談等で、お子様の成長や課題の共有を図っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			⇒現在、未就学の保護者様向けにペアレントトレーニングを実施しております。ニーズを見ながら対象者を拡大していきたいと考えています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		⇒利用前の見学や契約の際にお伝えできるようにしています。ご不明な点がございましたら、職員までお問い合わせください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		⇒アセスメントや個別支援会議で本人やご家族の意向をお聞きして支援に繋げられるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		⇒年2回の面談の中で、放課後等デイサービス計画を元にお話しさせていただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		⇒ご相談いただいた際には、専門的な視点からの助言や支援を心掛けています。また、遊遊の職員の視点のみでは必要な助言が難しい際には、他の職員や専門職に意見を求め、お答えできるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		⇒年2回、家族会を実施しています。活動報告だけでなく、よりご家族の交流の場となるような家族会を目指してまいります。	⇒今後、ご家族やきょうだい児のニーズも見ながら内容を検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		⇒苦情解決窓口を設置し、迅速に対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		⇒法人として会報（ポコアポコ）を作成し、発信しています。	⇒より療育の様子を見ていただきやすいようにSNSの利用も検討しています。個人情報の扱いに配慮しながら、発信の仕方を工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		⇒契約書にもある『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項に則り、厳正に取り扱っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		⇒絵カードや場面カードを副次的なコミュニケーションツールとして取り入れています。また、ハンドサインの入り口として、手話にも親しめる活動を取り入れています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		⇒事業所としては行っていませんが、法人として、サマーフェスタや、フリーマーケット等、地域に開かれた催しを行っています。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		⇒各ケースを想定し、マニュアルを策定し、研修などで職員間の周知・習熟を図っています。また、避難訓練、防犯訓練も定期的を実施しています。	⇒一部、施設内に掲示はありますが、今後、更に見やすいように工夫してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		⇒災害時と感染症対策のBCPを策定しています。机上訓練も含め、定期的に職員への周知を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		⇒事前にご家族に対応を確認し、全職員対応できるようマニュアル化しています。また、必要に応じて看護師との連携体制も取れるようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		⇒栄養士と職員で確認し、アレルギー食品の提供がないよう徹底しています。また、アレルギー発生時のマニュアルを策定し、万が一の際には迅速に対応できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		⇒安全計画を策定し、職員会議の時間を活用して情報共有や机上訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			⇒取り組みについてご家族にお伝えできるよう、安全計画をご覧いただけるよう準備してまいります。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		⇒事業所で発生したヒヤリハットはタイムリーに共有できるようにしています。また、他事業所のヒヤリハットにも定期的に目を通し、類似事例の抑制にも努めています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		⇒月に1回、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を実施し、意識向上に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		⇒身体拘束に関するマニュアルを作成しています。お子様の安全の為やむを得ず身体拘束が必要な場合は、本人・ご家族に十分な説明を行い、同意を得た上での実施を義務づけています。	